



St. Luke's International University Chapel

聖路加国際大学聖ルカ礼拝堂

〒104-0044 東京都中央区明石町 10-1 TEL 03-5550-2416 (事務室)

E-mail : chapel@luke.ac.jp URL <http://nssk.org/tokyo/church/luke>

ルカ福音書21:25-31(降臨節第1主日、2024/12/1)

「筋斗雲」

チャプレン ヨナ 成成鍾司祭

世界中で絶大な人気を誇り、漫画・アニメシリーズ・ゲーム作品などを含めた総売上が約 3 兆 4000 億円に達する『ドラゴンボール (DRAGON BALL)』をご存じだと思います。漫画家、鳥山明の作品として、世界中に散らばった七つの秘宝ドラゴンボールをすべて集めると願いが一つ叶えられるという設定で、主人公の孫悟空の冒険が描かれている物語です。そのドラゴンボールには「筋斗雲」と呼ばれる、人が乗れる不思議な雲が登場します。ドラゴンボールを語る上で欠かせない脇役として、登場人物たちに等しい存在感を以て様々なシーンに登場します。筋斗雲は主人公の孫悟空がかなりの頻度で愛用していて、筋斗雲があったからこそ孫悟空の活動の幅が各段に上がったとも言えます。ところが、筋斗雲は誰もが簡単に乗れるものではなく、それに乗るためには条件が一つあります。それは清らかな心を持つということ、そのような心の持ち主だけが乗れる、ということです。

筋斗雲の話をするには理由があります。それはキリストも雲に乗って来られるということが、聖書の中で預言されているからです。今日の福音書は、世の終わり、つまり終末のときに天と地にどのような兆しが現れるのか、そしてキリストはどのような姿で再臨されるのかについて伝えてくれます。それによりますと、天体が酷く揺り動かされる状況の中、キリストが私たちを救うために雲に乗って来られます。まるで孫悟空が雲に乗って移動するように、キリストは雲と光の輝きに包まれた煌々たる姿で空の向こうから降りてくる、というふうに想像してもいいかもしれません。しかしこれはいつになるか分からない未来についての預言なので実際に見た人は一人もいませんし、今の私たちはただ想像するだけで、どういう光景なのかということはそれほど重要ではありません。むしろ、終末という大変なときに私たちを救うためにキリストが再び来られる、ということに注目することが求められます。

人類のために自分の命までも惜しみなく捧げたキリスト、その純粹で清らかな心の持ち主であるキリストが、世の終わりのときに再び私たちを救うために来られます。これこそキリストの永遠に変わらない愛なのです。キリストは、死を目前に控えたときに「私の父の家には住まいがたくさんある。…行ってあなたがたのために場所を用意したら、戻って来て、あなたがたを私のもつとに迎える。こうして私のいる所に、あなたがたもいることになる。」(ヨハネ福音書 14:2-3) という言葉を残しましたが、まさしく終末のときにその約束を守るために再び戻って来られるのです。これは世の終わりである終末だけではなく、病気のために終末期を過ごしている、つまりターミナルケア (End-of-life care) という終末期医療を受けている人々にも同様に約束されている恵みであります。キリスト教の信仰がある無しに関わらず、この世での勤めを終えるすべての人には、それに相応しい慰めと永遠なる安息が与えられます。「私は世の終わりまで、いつも、あなたがたと共にいる。」(マタイ 28:20) と約束された、心清らかなキリストが迎え来て、用意された場所での永遠なる命へと導いてくださるのです。

(※聖書は裏面に記載されています)

<福音書> ルカによる福音書 21章 25～31節

25 「そして、太陽と月と星に徴が現れる。地上では海がどよめき荒れ狂う中で、諸国の民は恐れおののく。26 人々は、これから世界に起こることを予感し、恐怖のあまり気を失うだろう。天の諸力が揺り動かされるからである。27 その時、人の子が力と大いなる栄光を帯びて雲に乗って来るのを、人々は見る。28 このようなことが起こり始めたら、身を起し、頭を上げなさい。あなたがたの救いが近づいているからだ。」

29 それから、イエスはたとえを話された。「いちじくの木や、ほかのすべての木を見なさい。30 葉が出始めると、それを見て、夏の近いことが分かる。31 それと同じように、これらのことが起こるのを見たら、神の国は近いと悟りなさい。」